

「政治と音楽」
ミニ・シンポジウム

◇日時: 2012年12月22日(土) 17:00 - 20:00

◇場所: 明治学院大学 白金キャンパス 本館9階92会議室

占領期日本のポピュラー音楽文化
— 米軍クラブを手がかりに —

報告者 ^{とうや}東谷 護

(音楽社会学 / 成城大学文芸学部准教授)

コメンテーター 芝崎 祐典

(国際政治史 / 筑波大学大学院人文社会科学研究所准教授)

司会 半澤 朝彦

(政治と音 / 明治学院大学国際学部准教授)

— 概要 —

占領期日本(1945～1952)に現れた、米軍基地という「アメリカ」の中に設置されたクラブを巡る音楽実践に焦点をあて、これら米軍クラブにおけるポピュラー音楽文化が内包している文化的意義の考究を目指す。

◇参考文献◇

東谷護「進駐軍クラブから歌謡曲へ—戦後日本ポピュラー音楽の黎明期—」(みすず書房)

阿部勲一・ほか「ブラスバンドの社会史—軍楽隊から歌伴へ—」(青弓社)

阪本順治・脚本・監督「この世の外へ—クラブ進駐軍—」=映画(DVDあり)

〈敬称略〉